

患者さんへ

「心臓手術関連急性腎障害のリスク因子が集中治療室在室中および退室後の歩行回復へ与える影響」

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。このような研究では、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得ることが困難な場合には、研究の目的を含む研究の実施についての以下の情報を公開することが必要とされています。

1 研究の対象	2022 年 4 月より 2025 年 4 月までに心臓手術後に札幌東徳洲会病院集中治療室へ入室した患者さん。ただし、術前の移動機能が困難（全介助）であった患者さんは対象になりません。
2 研究目的・方法	心臓手術関連急性腎障害は、術後に高頻度に発症し、死亡率・罹患率の増加および退院時の日常生活活動低下と関連することが報告されています。腎保護手段として、血行動態管理および必要時の腎代替療法、あるいは術前の栄養状態の管理などが推奨されていますが、これらの対策が、集中治療室入室中および退室後のリハビリ進行、特に早期離床・歩行開始といった歩行機能の回復にどのように影響するかを検討した研究はあまりありません。本研究では、過去の診療録の情報をを用いて、心臓手術関連急性腎障害が発症するリスク要因が、集中治療室入室中および退室後における歩行機能の回復に与える影響を検討することを目的としています。これにより集中治療室退室後や退院時の歩行機能の向上に有益な情報を提供できる可能性があります。 研究の期間：施設院長許可（2025 年 10 月予定）後～2026 年 9 月
3 情報の利用拒否	情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんのご家族等で患者さんの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。その場合は、「6. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 ただし、ご了承頂けない旨の意思表示があった時点で既にデータ解析が終わっている場合など、データから除けない場合もあり、ご希望に添えない場合もあります。
4 研究に用いる情報の種類	年齢、性別、身長、体重、病歴情報（原疾患名など）、手術に関する情報、入退院時の歩行自立度、集中治療室活動度スケール、栄養指標、改訂版長谷川式簡易知能評価スケール、病態および投薬情報、集中治療室での患者情報および検査値、在院日数、経過 等
5 個人情報の取扱い	収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。
6 お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 研究責任者：札幌東徳洲会病院 リハビリテーションセンター 佐藤 祐介 住所：札幌市東区北 33 条東 14 丁目 3 番 1 号 電話番号：011-722-1110（代表）